様式２－１（使用料制施設用）

管理運営状況評価書 【対象年度：平成22年度】

課名　　生涯学習まちづくり課

施設名	掛川市竹の丸
条例名	掛川市竹の丸条例
施設設置目的	市指定有形文化財竹の丸を保存及び活用するとともに、竹の丸の歴史文化的価値を顕彰し、もって市民文化の発展に寄与するため。
指定管理者名	特定非営利活動法人スローライフ掛川
指定期間	平成21年6月1日から平成26年3月31日まで
自主事業の有無	有り （事業費190千円）
指定事業の有無	有り （事業費444千円）
使用料制・利用料金制の別	使用料制

決算状況等（単位：千円）		H18	H19	H20	H21	H22	備考
	指定管理料（A）				11,757	14,000	詳細様式2-2
	施設利用料（B）				736	873	
	差引（B－A）	0	0	0	△ 11,021	△ 13,127	

事業報告書	有り（法第244条の2第7項による義務付け）
利用者満足度調査等実施の有無	有り

評価	評価内容	結　　果	改　善　策
	1 施設運営目的の達成度	竹の丸設置目的である市民文化の発展への寄与に沿った運営が行われており、自主事業においても竹の丸塾（主として歴史分野）や竹の丸ゼミ（主として文化芸術分野）、企画展示（松本家、葛布関係）など多彩なメニューが展開されている。	現在の運営状況から特に改善を求める点はなく、引き続き積極的な自主事業の展開を期待する。
	2 利用者満足度	入館者数は（H21）9,412人、（H22）4,943人。貸室利用者は（H21)412件・15,878人、（H22）523件・7,530人となっている。H21とはH22ではオープン時の無料開放と年間日数の違いもあり、単純比較はできないが、貸室件数は伸びを見せており、市の歴史文化ゾーンの施設として着実に利用の促進が図られている。 利用者満足度については、引き続き高い満足度を維持しており、入館者に占めるリピーターの割合も高い。	ホームページ等による情報発信に積極的に取り組んでいるが、利用状況の向上（特に貸室の利用件数）を図るため、広報・宣伝活動へのより一層の取り組みに期待する。
	3 効率的な運営	管理に従事する職員は3名。入館、貸室、施設管理等の業務から必要な人員配置がなされ、かつ経費の削減や利用者の高満足度の維持がされていることから効率的な運営が図られていると言える。	経費の見直しを行い、一層の効率的運営を図る。
	4 その他の課題等	施設周辺施設との連携。	商店街や周辺施設等との意見交換、情報収集を行い、エリア・ゾーンとしての発展を探る。

様式２－２（使用料制施設用）

掛川市竹の丸

＜指定管理料内訳（Ａ）＞　（単位：円）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
人　件　費		7,288,767	9,245,544	
委　託　料	0	1,716,477	2,030,598	
浄化槽管理委託		143,850	143,850	
防犯警備委託		52,627	62,748	
清掃委託		747,000	896,400	
庭園清掃委託		773,000	927,600	
印　刷　費		139,446	157,675	
通　信　費		57,446	53,085	電話料、郵便料
修　繕　費		400,000	304,549	
清　掃　費		84,626	117,165	リネン清掃用具費 委託分は上記に計上
保　守　点　検　費		120,750	120,750	消防設備保守点検料
借　上　料		443,450	441,000	
光　熱　水　費		351,358	440,802	電気、ガス、水道
燃　料　費				
保 険 料				
そ　の　他		1,154,680	1,088,832	企画展示費、文具消耗品費、ﾌﾟﾛﾊﾞｲﾀﾞ利用料、他
合　　計	0	11,757,000	14,000,000	

＜施設利用料（Ｂ）＞　（単位：円）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
施設利用料収入		736,270	873,990	掛川市へ収入

＜施設利用者数＞　（単位：人）

区　　分	H20決算	H21決算	H22決算	備　　考
施設利用者数		25,290	12,473	入館者数及び貸室利用者数